

# 読み書きの苦手な 子供のために

---

デイジー図書 デイジー教科書を使って  
濱野幸恵

# その子の今の状況を知る

---

- ☆各種発達検査
- ☆お母さんの気になっていること
- ☆ひらがな音韻検査
- ☆感覚統合検査
- ☆保育者、先生の気になること
- 本人の読みたいを支援
- ★本人の困り感(マンガが読めない。ゲームの会話がわからない)

# ひらがな カタカナ

どちらからでも

ポケモンの名前も教材

★音と形を自然に一致させる

デージー教材。教科書のほか絵本も

ひらがな手作りデージー教材

マンガもゲームも学習動機につながる

- まずは音韻を(見て聴いて操作して)
- ひらがなは曲線が難しい
- 大きな手本をなぞる
- 紙やすりの手本を触る
- 粘土で作る
- 市販の玩具「おえかき先生」の部品
- 五十音表



ナビゲーション

ひらがな あそび ①

あ  
い  
う  
え  
お  
か  
き  
く  
け  
こ  
さ  
し  
す  
せ  
そ  
た  
ち  
つ  
て  
と  
な  
に  
ぬ  
ね  
の

セクション

ひらがな あそび ①

あ

あ  
の  
つ  
く

こ  
と  
ば  
は

な  
ん  
だ  
ら  
う  
な

あ  
か  
で  
す

あ  
お  
で  
す

あ  
り  
さ  
ん  
お  
は  
よ  
う

あ  
さ  
が  
き  
た

# なぜ読み聞かせではなくデイジー図書

---

- 視覚 聴覚に入った感覚刺激を受け取り情報として理解し判断する
- デイジー教科書の正確な再現性。(楽な情報処理)
- 音、形、意味を一致させる(音韻の学習も自然に)
- ハイライトで読みについていける。
- 背景の色を変えられる(視機能の問題)
- 一人で読める(速さ、繰り返し、拡大)→私仕様で(PCでもタブレットでも)

# 小学二年二学期からひらがなを まずは楽しく言葉を使おう(ある指導例)

---

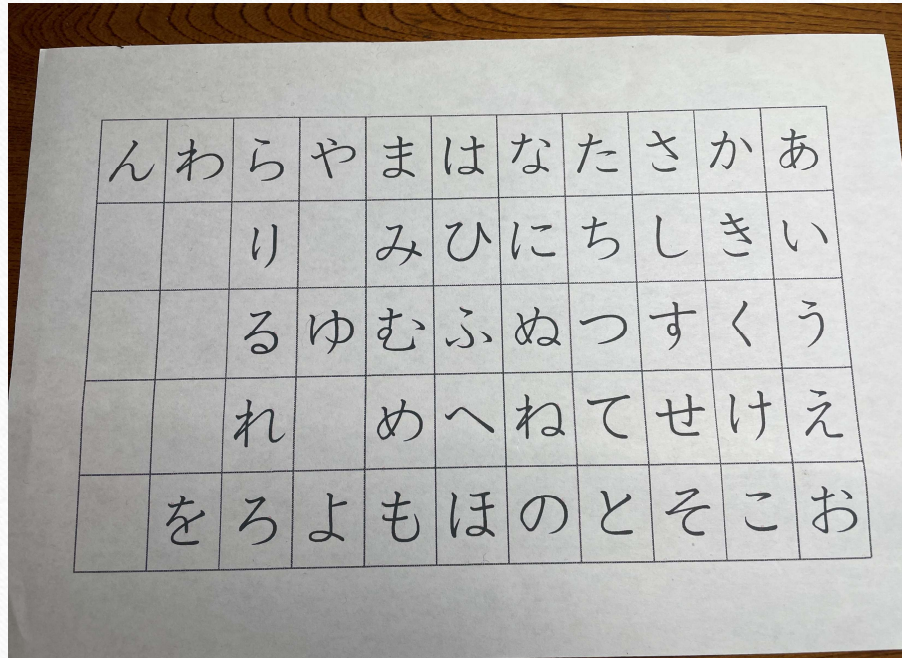
- 楽しく言葉遊びで語彙を広げる
- 絵カード(公文絵カード 百均の絵カード)
- ひらがなカタカナ言葉づくり(並び替えで言葉づくり)
- しりとり(頭しりとりも)
- 逆さコトバ(絵カード、文字カード)
- いっどこで文づくりあそび
- でたらめ作文
- 一日一行日記
- 4コマ漫画

# ひらがなを攻略

---

- 使用教具 ひらがなカタカナ積み木 絵カード
- **デイジー図書(教科書 絵本)**
- お母さんに読んでもらう(寝る前にお母さんに読んでもらうのも好き)
- 自分で読む 遊び(絵本 まんが ゲーム デイジー図書)
- 勉強(デイジー教科書)
- 約半年でひらがなカタカナを攻略 ローマ字に進む

# ひらがなカタカナ積み木を デイジー図書と一緒に使って





# 中学校になったらー教科によってばらばら

- 入学前(お母さんから学校へ)
- 読み書きの苦手。ルビがあれば読める。
- 書き写しは負担
- 友達に聞いて修正したいから普通学級での授業希望
- デイジー図書使用希望
- 座る席の配慮
- 学校の対応
- 連絡ノート(支援級の先生)
- タブレットにデイジー教科書使用許可
- 音を出さずに見ている(本人)
- (要イヤホン。本人はルビで読んでいる)
- 中間テスト
- 手書きルビ行間無。問題用紙解答用紙共に難解、質問できない
- 英数理は拡大用紙で見やすかった
- 期末テスト
- 全ルビではなかったなので、読めない漢字も(国語)
- 支援級で受ける
- 読みを訊いたり解答場所を訊ける  
困ったときに聞ける安心
- 全ルビ用紙が大きくなった、手書きルビは行間が詰まる等教科により違いがある
- テストもデイジー図書だったらいいのに

# 子どもを応援しよう

---

☆その子の読書、学習スタイルを認める(ひけめに感じないように)

☆先生にもデイジー図書研修を

☆デイジー図書は道具の一つ。使用は不公平ではない

☆高校以上になったときの方法も伝える(未来が途絶えるわけではない)

☆PC活用で「書き」を補う 早期のキーボード練習

☆必要な支援希望に応じる

デイジー教科書使用(テストもデイジー化) 板書を写真にとることを許可等  
わからないことをすぐに訊ける体制